

防災・災害対策の拡充を問う

立憲・国民ネット・無所属議員団 間 ひとみ



①区の持つ人的・物的資源を把握し、不足する資源を見積もり、戦略的に災害時に必要な協定の締結を進めるべきでは。②避難所外避難者の把握や支援についての課題認識は。③アプリやAIなどを導入し、避難所のDX推進を行うべきでは。④円滑な避難所運営を行うため、各地域の防災対策等の情報の可視化、情報発信・集約に向けた支援も重要である。モデルケースを確立してはどうか。⑤災害から乳幼児を守るため、産前・産後の時期の方を対象とした防災学習講座を実施しては。⑥各避難所における、乳幼児親子支援の担い手を育成するため、研修を実施しては。

若者政策の今後の展開を問う

①若者会議の提案を事業として実現していくため、提案スケジュールを見直すなど、事業の再構築が必要ではないか。②ハイティーン会議や若者会議において、活動費や調査費の予算化や、提案を実現

するための仕組みを作るべきでは。③中高生交流施設ができるまでの間、中高生が安心して過ごせる居場所を暫定的にでも作るべきではないか。

①提案を区政に反映していくため、新たな事業化に向けたスキームの検討を進めていきたい。②効果的な仕組みを検討していきたい。③区有施設を活用し、居場所事業の試行的実施を検討していきたい。

保育園入園手続きのスケジュール等の見直しを

他区を参考にし、加点对象等入園の利用調整や、入園手続きのスケジュールについての見直しを行ってはどうか。

①他区の実施状況等も踏まえて検討していく。

機能的かつ区民にわかりやすい組織編成をせよ

自由民主党議員団 高橋 ちあき



①どのような考え、思想のもと、組織編成を行っているのか。②防災危機管理官を非常勤の会計年度任用職員としたこと、防災危機管理担当部長が防災危機管理課長事務取扱として従事していることは、有事に対応できる体制となっているか不安である。体制の解消に手を付けてはどうか。

③今後も増大するリスクなどを鑑み、危機管理に対応できる組織構造、人員体制となっているか、組織を見直してはどうか。④子ども教育部と教

中野からインクルーシブな社会の実現を

立憲・国民ネット・無所属議員団 細野 かよこ



①中野区障害者計画案には初めて「人権モデル」の文言が記載された。人権モデルをどう捉え、施策にどのように反映させていくのか。②区が描くインクルーシブ社会とはどんな社会か。③子どもの権利条約意見表明権の原文は「Pinnions」ではなく「views」である。子どもの意見や特性を意識し「views」にも目を向け、耳を傾けては。④人は誰もが生まれる「人権モデル」の考え方を踏まえ、障がいのある人が自らの決定に基づき社会活動に参加し、自己実現が図れるよう、権利擁護、就労支援、障

を参考に、検討を進めていく。女性の視点を生かし災害対応力の強化を

防災に関する意思決定のプロセスに、女性の比率半数を実現する取り組みが必要では。⑤長 検討していく。

男女共同参画基本計画の第5次改定案を問う
女性支援法に基づく支援調整会議の記載があるが、DV防止連絡会と重複する委員もいると想定される。それぞれの会議体の役割、連携の在り方の明確化が必要ではないか。

①長 新たに設置する支援調整会議は、DV防止連絡会の状況等も踏まえ、適切な役割等を明確にしてい

区画街路第4号線沿道の活性化について問う

公明党議員団 南 かつひこ



中野区産業振興方針に、区画街路第4号線沿道の活性化を関連づける必要があると思

うが、区の見解は。

①政策・施策ごとの戦略に基づいた組織編成とされている。②防災危機管理官は制度上、会計年度任用職員に切り替えて任用している。防災危機管理課長は、令和6年度適正な配置ができる見込みである。③総合的な危機管理体制について改めて検討したい。④執行体制を強化する必要があると認識している。

歩行者利便増進道路(ほこみち)の指定制度を活用せよ

沼袋駅から新井薬師前駅の鉄道上部空間活用や、区画街路第4号線商店街の活性化策として、ほこみちの指定制度の活用が有効と考えるが区の見解は。

①長 地元商店街等の地域の意見を聴きながら、ほこみち制度の活用など、国や都の制度等を効果的に活用し、活力・魅力がある歩行空間づくりに取り組みしていきたい。

5歳児健診を実施せよ

国は、補正予算で、「1か月児」及び「5歳児」健康診

査支援事業を新設するが、中野区でも、補正予算による支援の活用も視野に入れて、5歳児健診を実施すべきでは。

①長 適宜、情報収集を行い、5歳児健診の方法や体制などの課題を整理しながら、検討を進めていく。

第七中学校改築に関して問う

①校庭は全て人工芝にする計画だが、ボールが弾まないことされるテニスの活動や花火大会、避難所開設時の防災かまどの使用に支障はない

鷺の杜小学校の児童に安全な通学路を

自由民主党議員団 武井 まさき



鷺の杜小学校に通う子どもの安全のため、通学路への横断施設の設置に向け、関係機関との協議を進めていく必要があると考えるがどうか。

①教育長 安全のために設置することが望ましいと考えており、引き続き協議を進める。

地域活動の活性化を問う

①区は地域団体を把握しているのか。②地域団体の相互の交流のため、把握しているの交流のため、把握している団体情報を提供してはどうか。

①長 地域で活動する

年間収入20億円のたばこ税を活用し分煙対策を強化せよ

自由民主党議員団 大内 しんじ



中野駅北口に設置されている喫煙所は屋根もなく、受動喫煙、副流煙対策が行われていない。通学路であるため保護者からは改善を求める要望もある。ボックスタイプの屋根付き喫煙所を設置し、早急に対策を講じるべきでは。

①長 設置や運営方法などを検討していきたい。

新庁舎1階の食堂を問う

平日夜間や休日も営業するため、貸し切り利用ができる。どの程度の規模の会合ができ、予約と利用の開始時期はいつなのか。

①長 約100人分の座席を確保し、予約は4月から、使用は5月下旬から開始する

能登半島地震を問う

予定で調整している。

なかの東北絆まつりは現在でも「復興」のコンセプトを継承し開催されている。能登半島地震の復興状況等を伝える場として検討してはどうか。

①長 今後、実行委員会と協議していく予定である。

